紫藤通信

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎　049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

http://www.yamamura
kokusai.ed.jp

卒業式

第72回

冬の寒さも和らぎ春の気配が訪れ始めた三月三日、令和四年度第七十二回卒業式が厳かに挙行された。今回は昨今の情勢に鑑み、保護者一名の参列が可能で、もう一名来校した場合は別の教室でライブ中継を行い、マスクも参加者の判断に任せるという卒業式となった。

卒業証書の授与が終わると、校長先生から「新型コロナやロシアのウクライナ侵攻など益々先行きが不透明な中、制限が課された学校生活であったと思うが、この状態の中で努力をした経験は大きな財産になる。ダーウィンの「進化論」に、「強い者が生き残れるのではない。賢い者が生き残れるのでもない。変化に適応できるものが唯一生き残れるのだ。」とある。前例が通用しないこの時代にこの経験を糧に学び続けていって欲しい。」と式辞が述べられた。続いて岡理事長から「新型コロナの影響で行動制限を課された学校生活を送り、本来経験できることが経験できなかった人が多くいる。しかし、その中で皆さんは他を思いやる気持ちを培い、人を信じる気持ちを学ぶことができた。約百年前に第一次世界大戦の終戦を早めたと言われているスペイン風邪が猛威を振るったが、それに打ち克つことができた。現在はまだまだ新型コロナが猛威を振るっているが、必ず打ち克つことができる。決して諦めずに前を向いて生きていって欲しい。」と祝辞が述べられた。

来賓・祝電・卒業記念品の紹介の後に在校生代表として現生徒会長荒井大和君からは、先輩方への感謝と後を継いでいく覚悟が述べられた。卒業生代表の前生徒会長山口寛人君からは、三年間の学校生活の思い出と学校と保護者に対しての感謝の意が述べられた。

無事式が終わり卒業生が退場する際、担任に対する感謝を全員で声を合わせて述べてから退場するクラスもあった。三年間を過ごした学び舎を巣立っていくその姿は晴れ晴れとしており、現下の先行き不透明な未来に対してもひるまずに立ち向かっていこうという強さが感じられた。

●各賞の受賞は次の通り

山村学園理事長賞	七組	小野　星凛
学校長賞	六組	山中菜々美
後援会長賞	一組	山本　耀太
三ヵ年皆勤賞	二組	増田　健太
山村学園創立者賞	一組	大木則和様
	二組	田村隆博様
	三組	増田孝樹様
	四組	鈴木哲矢様
	七組	萩原　豪様
日本私立中学高等学校連合会会長賞	二組	鈴木　大智
埼玉県私立中学高等学校協会会長賞	六組	江原　優菜
埼玉県私立中学高等学校保護者連合会会長賞	五組	葛西　美咲
国際文化賞	七組	小林　瑠香
山村要二記念賞	三組	星野　遥斗
体育優良児童生徒表彰	一組	牧野　慎平
	六組	壇上　藍里
山村ふみよ記念賞	四組	大沢　未歩
産業教育振興中央会会長賞	四組	岡田　冴
埼玉県産業教育振興会会長賞	四組	細野　葵

「志を強固」に夢の実現へ

校長　中山　達朗

人は、それぞれの生活において、困難なことや混乱することに遭遇した時、適切に対応・処理する能力を有することが必要です。

また、根本的に心の迷いを取り除き、しっかりとした気持ちを持って対処していくということは言うまでもありません。

さらに、自らの目的や志をしっかりと持つことで、目の前の事案に立ち向かうことができ、その場面に応じて、最善と考えられる具体的な方策が出てくるものだと思います。

その志を確固たるものとしてもつことなしに、難しい局面に直面するなら、あれこれと心の迷いが生じて、課題解決のための取組みが遅くなり、最終的には解決に至らない場合が少なくありません。「貧すれば鈍する」という言葉がありますが、ちょうど、そういうことを言い表しているのかも知れません。

大きな目標になる程、志は強固でなければなりません。いわゆる信念をもって生きるとでも言いますか、そう言う強いものをはっきりと心に秘めていくことが大切になります。

こうした姿勢により、問題解決の光が見えてくるのではないでしょうか。

皆さんには、様々な困難に出くわしても、しっかりとした信念のもと、行動していくことが求められます。いかに、周囲の状況が好転しなくとも、それにとらわれて右往左往するのではなく、その原因は、どこにあるのかということを明確にして、その後の対応について考え、これはこうやっていくべきであるという指針を定めることが、解決に向けての「道しるべ」になるのです。

今後の生活で、難しい局面に当たり、解決するという経験を積むことは、皆さん自身を一回りも二回りも成長させ、自らの夢の実現に向けての力となります。そのためにも、志や目標をしっかりとさせ、これからの生活を送っていってください。

カウンセリングルームより

あなたは何時間寝ていますか？

子供の生活習慣づくりについて、社会全体の問題として子供たちの生活リズムの向上を図っていくため、平成十八年四月に「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が発足し、文部科学省は同協議会と連携して、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進しています。その「早寝、早起き、朝ごはん」の中高生用普及啓発資料には、「短い睡眠時間は風邪を引きやすくなるばかりでなく、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病といわれる深刻な病気にかかりやすくなる。」と、記載されています。

また、アメリカ国立睡眠財団は、十四歳から十七歳の望ましい睡眠時間を八時間から十時間とし、限界最短睡眠時間は七時間である。と提唱しています。昨年、あるクラスに睡眠時間のアンケートを採ったところ、クラス全体の睡眠時間の平均値は五時間五十四分でした。また、このアンケートで日頃感じている体調不良について聞いたところ、「頭痛」「イライラする」「物事に集中できない」などが上位に上がっていました。睡眠時間は短く、体調不良を感じながら生活することは、成長期である高校生にとって決してよい状態ではありません。

睡眠中に、脳から様々なホルモンを分泌し、身体のメンテナンスを行います。自律神経のバランスを調整するのも脳の役割です。長期間睡眠不足状態にある人は自律神経という血圧や体温などの調節を行う神経に影響を及ぼし、頭痛、立ちくらみ、集中力の低下などいわゆる体調不良という症状になって現れます。寝ないで遊びたい、勉強したいと思うかもしれませんが、できません。人間は眠ることで健康を維持するようにできている動物です。睡眠と健康は密接につながっています。規則正しい生活習慣を身につけて必要な睡眠時間をしっかり確保しましょう。

事務室だより

事務長　師岡　昇

令和四年度においても、コロナ禍で始まり、学校行事を始めとして何もかもが延期や事業計画の見直しで、計画通りに進められない状況でしたが、皆様方の多大なご理解とご協力をいただき無事に進めることが出来ました。心から感謝申し上げます。

事務事業では、要望にあったA館トイレ改修工事とA館空調設備設置工事を行うことが出来ました。令和五年度は第一グラウンドの人工芝化を学校と後援会及び賛助会の協力を得て、計画が進んでおります。その際は施設関係でご不便をおかけすることもあるとは存じますが、全ての生徒が安心・安全に勉強や部活動に打ち込める環境作りを順次整えていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

皆様には、授業料の納入、国の就学支援金及び埼玉県の父母負担軽減申請等におきまして、大変お世話になりました。皆様のご協力により手続きが全て完了し、現在届け出のある授業料振替口座への振込処理をいたしましたので、ご確認をお願いいたします。

なお、来年度の国の高等学校等就学支援金の申請は令和4年度と同様、オンライン申請となります。昨年度お渡しした、ログインに必要なID・パスワードを使い学校から配布されます書類をもとに申請の手続きを行ってください。

また、「父母負担軽減申請等」については従来通り紙ベースで書類を提出していただくことになる予定です。例年通りですと、第1回目の申請は六～七月に生徒を通してお知らせいたします。お手元に資料が届かない場合は、事務室までご連絡ください。

イングリッシュスキルアップセミナー English Proficiency Improvement Seminar

二月十三日～十七日の期間で、恒例となったイングリッシュ・スキルアップ・セミナーが一年生対象に行われました。九クラスから混合した十五名程度の少人数グループで、それぞれに外国人講師がつき、五日間にわたり英語をメインに過ごすイベントです。学年内の全クラスをシャッフルして編成されたグループの新鮮さに期待を膨らませている生徒もいれば、初めて話す他クラスの生徒と初めて会う外国人講師を相手に初日は緊張した様子でしたが、二日目以降は徐々に打ち解けていき、生徒たちは積極的に活動に参加していました。彼らは欧米圏のみならず多様な文化的背景をもち、母国について紹介する姿からは、自分自身のルーツにとても誇りをもっていることが強く伝わってきました。そういった姿にも触発され、最終日、生徒たちは数名のグループごとに、体育館と視聴覚室で分かれてSDGsや異文化の紹介などをテーマに英語でプレゼンテーションを行いました。それぞれが工夫を凝らしたすばらしいものでした。

最終日は、外国人講師から修了証が手渡されました。生徒たちの表情は心なしか自信に満ちたものであったように感じます。一週間のセミナーを通し、英語力が向上したばかりでなく、今後必要とされる「人に伝えようとする力」の上達や、クラスの枠を超えての交流により、コミュニケーション能力が高まるなど、様々な面で成果をあげることができました。

2学年遠足 東京ディズニーシー 2nd Grade Excursion Tokyo Disney Resort

二月十六日（木）、2学年は学年遠足に行ってきました。目的地は東京ディズニーシー。コロナ禍で団体入場に大幅な規制がかかる中、ようやく実現しました。当日は見事な快晴。来客数の予想外の多さには驚愕でしたが、セキュリティチェックを通過し入場を終えると、まるで蜘蛛の子を散らすように生徒たちは人混みに紛れていきました。さすが慣れていらっしゃるようです。タワー・オブ・テラーやソアリンは予想通りの大行列。なんでもタワテラは、アンリミテッドという期間限定のメニューらしく、複数の落下レベルがあるとのこと。何度も乗ってグッタリしていた子もいたようです。ソアリンは、皆が口を揃える通り感動ものだったようですが、乗る場所にも左右されるようです。

ところで「夢の国」の嗜み方は人それぞれ。乗り物で日頃の鬱憤を晴らす者もいれば、ジャンボリミッキーや様々なショーを楽しみたい者、何なら食事を目的とする人もいるようです。かく言う小生は、園内の雰囲気に浸ることが最大の楽しみであったりします。開園から二十年間、変わらぬ姿を見せてくれるメディテレーニアンハーバーは、昼間の景色もさることながら、夕暮れ後の景色がとても幻想的で、中世の地中海世界にタイムスリップしたかのような気持ちにさせてくれるのです。手に入れたばかりのリーナベルを抱えて、のんびり散歩を満喫させていただきました。

散歩中に出会った生徒たちは、熱心に写真を撮っていたり、ベイマックスのかぶり物で頭を大きく膨らませていたり、ミッキーの形をしたサングラスをかけていたりと、思い思いに過ごしていたようです。このサングラス、付けている本人は気づかないでしょうが、左右それぞれに黒丸三つのミッキー、計六つもの黒丸があるため、こちらとしてはどこを見て話したらよいものか戸惑う代物でした。最後に、今回人生初のディズニーシーを体験した生徒の声を紹介します。「想像の五倍はすごかったです！本当に夢の国でした！」

3年生送別会 Farewell party for 3rd year students

二月十八日(土)に行われた送別会。コロナ禍の影響もあり、一・二年生は教室にてオンライン鑑賞、三年生は体育館にて参加をしました。

三年生を笑顔で送り出すためにと、生徒会が企画し、軽音部・バトントワーリング部・ダンス部・吹奏楽部・コーラス部・放送部が工夫を凝らして発表を行いました。

「三年生が引退をしてから、一・二年生で支えてきた部活の成果を見て欲しい」「山国の楽しい思い出を1つでも多く心に残して欲しい」という思いを込め、ステージ立った生徒は精一杯の笑顔で三年生に向け披露しました。

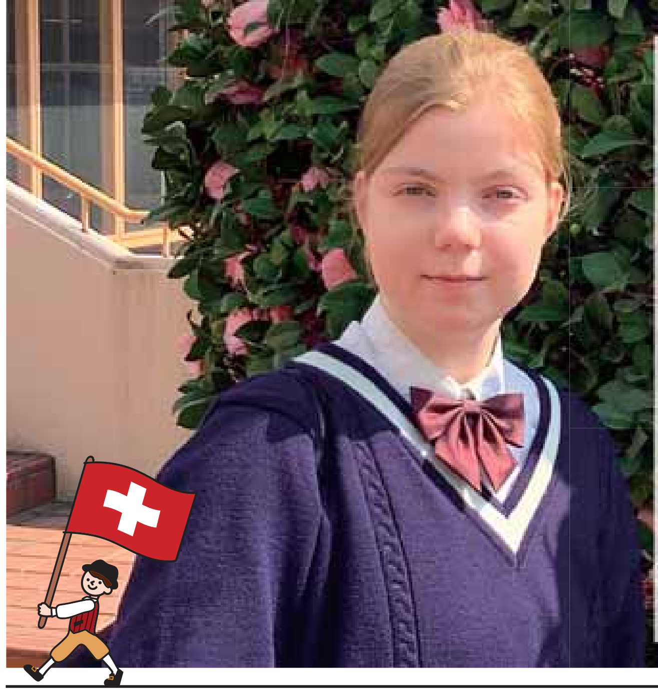
送別会の一番の目玉は、もちろん三学年団の教員によるパフォーマンス。今年流行した〝きつねダンス〟や、芸術鑑賞〝アナと雪の女王〟の思い出を吹奏楽部の演奏とともにダンスと歌で表現。体育館に響く生徒の歓声と笑いは、先生方のモチベーションをさらに上げることに繋がりました。

3年生は「みんなの思いが伝わりました」「先生方からの個性溢れるパフォーマンスとメッセージはとても嬉しかった。この学年で良かった！」と送別会をとても楽しんでいました。

在校生全員のメッセージが込められたモザイクアート〝揚翼〟は卒業式まで校内に飾られ、多くの3年生がじっくりと読んでいました。

高校を卒業して、さらに先に向けて高く大きく羽ばたいて欲しい！在校生・教員ともに見守っています。

Sophie Guggisberg



２学年留学生 ソフィー・グギスベルク

私はソフィーです。私は 2005 年 9 月 9 日に生まれました。

海、音楽、ジョジョ、青、詩、スポーツ、特にバレーボールが好きです。もちろん日本も好きです。2022 年 8 月 19 日、スイスのバーゼルから来日しました。私は独学で日本語を勉強しています。大変だけど楽しくて頑張ってます。日本では、ホストファミリーと暮らしています。みんなとても親切でうれしいです。また、とてもかわいいホスト兄弟が 4 人います。暇なときは、友達に会ったり、東京に行ったりするのが好きです。東京はやることがたくさんあって楽しいです。

残り 4 ヶ月の日本滞在で、日本語を頑張って覚え、友達を増やしたいです。

British Hills
ブリティッシュヒルズ 英語研修

十二月二十六日から二十八日の三日間で、福島県にあるブリティッシュヒルズで英語研修を行ってきました。参加生徒は、一年生十九名、二年生七名、三年生二名の計二十八名でした。三日間とも天気も良く英国の雪景色に見惚れ、ハリーポッターの世界に夢中になっていました。ハリーポッターのコートも借りられて、写真を撮ったりとみんなのテンションも上がって幸先の良いスタートとなりました。

到着時とは一転して、チェックイン時からのオールイングリッシュに不安と緊張の糸が張り詰めました。しかし、講師の先生の優しさや、丁寧で分かりやすい英語に生徒たちもリラックスでき、それぞれの研修を楽しんでいました。研修の内容は、Dreamcatchers、Snooker、British Festivals、British Hills Experience、Cooking Scones、と五つのレッスンを行いました。どれもクイズやレクリエーションなどもあり、楽しく前向きに英語のスキルを磨くことができる内容で、大変満足していました。また、レッスンの他に Extra Challenge があり、他の一般のお客様と一緒に学べる場が設けられ、交流も図りながら英語を楽しく学んでいました。また、自由時間もしっかりと確保されており、アフタヌーンティーを楽しんだり、ジムを借りてスポーツなども楽しんでいました。どれも、日本では学べないものばかりで大変満足していました。そして、施設も大変趣があり、英国に行かなければ感じられない生活を日本で体験できました。それぞれの建物は、中世の英国を表現しており、貴族が利用していたマナーハウスやお城、民家まであり、すべてに触れることができました。Victorian Alley というお土産ショップでは、1ポンド100円に換算し、実際にイギリスでのお買い物を体験しながら、お土産を買うことができ、良い体験ができました。最終日に行ったスコーン作りも、とても美味しいスコーンを、丁寧な英語で一つ一つ教わり英語で料理までできるようになりました。みんなニコニコしながら食べていました。

三日間を通して、本場の英国の雰囲気を肌で感じ、本場の英語を感じることができ、大変有意義な研修になりました。生徒たちも、英語がもっと身近になり、様々なところで学んだ英語が実践できると、全員が思うことができました。なにより、今現在の英語能力のレベルに不安があった生徒も含め、全員がまた参加したいと思う研修になったことが本当に良かったです。来年度のブリティッシュヒルズ研修がもっと盛り上がりそうで、今から楽しみです。

進路報告 ～進路指導部より～

【大学】

令和四年度卒業生二三五人のうち、六五％の生徒が四年制大学への進学を決めている。一般選抜を受験している生徒の中には三月下旬まで結果を待つ生徒もいるため、この数字は三月末日まで変化していく。

総合型選抜や学校推薦型選抜では、部活動で実績を残した生徒や各種検定の資格を取得している生徒達が自分の得意分野をアピールできる入試としてチャレンジした。今年は約一〇〇名の生徒が総合型選抜、学校推薦型選抜で進学先を決定している。

一般選抜では一月一四日・一五日に実施された大学入学共通テストを九二名が受験した。全国の一般選抜の志願者数は前年比九八％と減少傾向にあるのに加え、既卒生志願者の減少や各大学の合格者数の増加により、一般選抜の競争率は緩和されている。しかし、本校の生徒達が受験する首都圏の大学については、志願者数は前年並みを維持しており、高い競争率の中で戦わなければならない状況もみられた。そんな中、本校の生徒達も難関私立大学をはじめ、国公立大学にもチャレンジし、複数校で合格を勝ち取った。以下は令和四年度卒業生の大学の入試結果である。（令和五年三月一三日現在）。今年度は医療系学部（歯学部・薬学部・看護学部）を志望した生徒が多く、各クラスから合格者が出ている。

【短期大学】

短大への進学を決めた生徒は、昨年度とほぼ変わらず七．六％（昨年度八．〇％）であった。系列校の山村学園短期大学子ども学科には三名が進学予定である。その他には、看護系（埼玉医科短期大学に二名合格）をはじめ、栄養系・ビジネス系といった多様な進学先が並んだ。短期大学を志望する生徒については総合型選抜・学校推薦型選抜の受験者が多く、ほとんどの生徒が十二月までに進路を決定している。

【専修学校】

専修学校を希望する生徒は、昨年よりやや増加し二一．二％（昨年度一七．六％）であった。学ぶ学科・コースは、医療系・観光系・建築系・情報系など多岐にわたるが、中でも人気が高かったのは看護を含む医療系や情報系であった。

令和四年度卒業生 入試結果

国公立大学	
会津大学	1
茨城大学	1
埼玉大学	2
山形大学	1
群馬県立女子大学	3
鳥取環境大学	1
防衛大学校	3

私立大学	
亜細亜大学	8
足利大学	2
跡見学園女子大学	1
桜美林大学	1
大妻女子大学	2
学習院大学	4
神田外語大学	2
杏林大学	1
工学院大学	1
国士舘大学	1
駒澤大学	1
埼玉医科大学	4
埼玉学園大学	6
埼玉工業大学	1
産業能率大学	2
実践女子大学	1
十文字学園女子大学	3
淑徳大学	7
城西国際大学	3
城西大学	9
尚美学園大学	4
女子栄養大学	6
杉野服飾大学	1
駿河台大学	5
聖学院大学	1
成蹊大学	1
西武文理大学	5
専修大学	1
大正大学	2
大東文化大学	18
拓殖大学	1
玉川大学	1
中央大学	1
帝京大学	5
帝京科学大学	1
帝京平成大学	8
東海大学	3
東京経済大学	3
東京工科大学	1
東京国際大学	9
東京女子体育大学	2
東京成徳大学	3
東京電機大学	4
東京薬科大学	2
東洋大学	7
日本医療科学大学	4
日本工業大学	1
日本女子体育大学	1
日本大学	18
日本女子大学	2
日本薬科大学	1
文教大学	3
文京学院大学	9
法政大学	1
武蔵大学	3
武蔵野音楽大学	2
武蔵野大学	1
明海大学	1
明治薬科大学	1
明星大学	1
目白大学	4
ヤマザキ動物看護大学	2
立教大学	1
立正大学	1